

# 八国山緑地 生物多様性保全利用計画

▼ 整備・管理計画図  
 ... 環境タイプに対応した整備・管理方針、管理内容、目標種を設定した。

ゾーン	樹林ゾーン			草地ゾーン			
	2-1. 混雑林 (林床が草地タイプ)	2-2. 雑木林 (林床が低木タイプ、ササタイプ)	2-3. アカマツ-コナラ林	3-1. 原っぱ	3-2. ススキ草地	3-3. 高草草地	
目録イメージ							
将来目標	林床は草地等	林床は低木等	林床は低木等	低草草地	低草草地～中草草地	高草草地	
	コナラが主体になった雑木林 (明瞭では低木が稀疎)	コナラが主体になった雑木林 (明瞭では低木が稀疎)	コナラが主体になった雑木林 (明瞭では低木が稀疎)	利用型草地 (低草草地型)	利用型草地 (低草草地型) 草が足らなとわりはくが、自由に季節的に移動できる程度の草丈。	ススキの高草草地。ススキの中に入れ入ることはできず、踏み分け道を移動する。	
目標	コナラが主体の雑草広葉樹林 ・ 里山の動植物の生育・生息の保全 ・ 常緑広葉樹への遷移を抑制、里山に生息する生物の生息空間を創出 ・ 美しい樹林 ・ 明るい林床を好む野草を保全	コナラが主体の雑草広葉樹林 ・ 里山の動植物の生育・生息の保全 ・ 常緑広葉樹への遷移を抑制、里山に生息する生物の生息空間を創出 ・ 美しい樹林 ・ 明るい林床を好む野草を保全	・ 雑草のアカマツが生育する場所を中心に、アカマツの保全と育成を図る ・ ハルゼミが生息する場所を保全	・ 低草草地としての生物の生息空間 ・ 公園のレクリエーション利用などに配慮した草丈を維持	・ バッタ類、テントウムシなど身近な昆虫などふるふるあえる草地空間 ・ 昆虫が生息できる草丈を維持	・ ススキ草地として維持管理 ・ 基本的に動植物以外は立ち入れない ・ 昆虫類の繁殖を考慮した刈取期間の設定	・ 野趣に富んだ高草草地として維持管理 ・ 基本的に動植物以外は立ち入れない ・ 昆虫類の繁殖を考慮した刈取期間の設定
	高木の密度を下げ、林床の雑草を低く管理 ・ 低草層も少なく、明るくすっきりとした樹林として維持 ・ 「林床環境保全区 (保全樹木地区)」では、連続する林床を生かす	高木の密度を下げ、林床の雑草を低く管理 ・ 低草層も少なく、明るくすっきりとした樹林として維持 ・ 「林床環境保全区 (保全樹木地区)」では、連続する林床を生かす	・ 景観のアカマツを保全すると共に、適量、種類などによる、生育管理を実施 ・ アカマツ幼木を生育させる	・ 広場として、適度な管理をえること ・ 自由に歩きまわれる程度の草地とした刈取管理	・ 踏み込み草地として整備 ・ 自由に歩きまわれる程度の草地とした刈取管理	・ ススキ草地として維持管理 ・ 基本的に動植物以外は立ち入れない ・ 昆虫類の繁殖を考慮した刈取期間の設定	・ 野趣に富んだ高草草地として維持管理 ・ 基本的に動植物以外は立ち入れない ・ 昆虫類の繁殖を考慮した刈取期間の設定
管理内容	◎下刈り (1~2年に1回) △草刈り (1~2年に1回) △高木の刈伐 (適宜) ○草刈り (必要に応じて)	◎高木層に成長した常緑樹の除去 ○下刈り ○間伐を繰り返すツル植物の除去 △下刈り (適宜) △高木の刈伐 (適宜)	◎アカマツの樹木の育成 ◎アカマツの苗木の保護と育成 (年1回) △コナラマツの樹根及び幹腐病、マツ枯れのモニタリング	◎刈取 (年1~2回) ◎バッサリ刈り込み区を作り、バッサリなどの生息空間にする。	◎刈取 (年1回) 成虫で越冬するツチイナゴ、クビキリギス、幼虫で越冬するカガチチョウ、セセリチョウ類など、ススキ層で越冬する生物のために、部分的に刈り残す。	◎刈取 (年1回) 成虫で越冬するツチイナゴ、クビキリギス、幼虫で越冬するカガチチョウ、セセリチョウ類など、ススキ層で越冬する生物のために、部分的に刈り残す。	◎刈取 (年1回) 成虫で越冬するツチイナゴ、クビキリギス、幼虫で越冬するカガチチョウ、セセリチョウ類など、ススキ層で越冬する生物のために、部分的に刈り残す。
	植物: コウヤボウキ、チヂミササ、ジャコウチ、ヤブラン 鳥類: シロハラ、キジバト 昆虫類: ダシゴウモリ、シマセセリ、スズメ、シロフクロチョウ	植物: ヒサカキ、ガマズミ、リョウブ、コウヤボウキ 鳥類: シロハラ、キジバト 昆虫類: シロハラ、アオシ、アオシ	植物: アカマツ、ネズミ、ササクサ	植物: ヘビイチゴ、カタバネ、シロツメクサ、タンポポク 鳥類: ハクセキレイ、ムクドリ 昆虫類: ショウリョウバッタ、ヒナバッタ、ヤマシジミ、ベニシジミ、モテテハ	植物: ススキ クビキリギス、ツチイナゴ	植物: ヤマハギ、アサミ、ノコンギク、ヨメナ 鳥類: キジ、カシラダカ、モズ 昆虫類: キタキチョウ、ツマグロヒヨドリ	植物: ヤマハギ、アサミ、ノコンギク、ヨメナ 鳥類: キジ、カシラダカ、モズ 昆虫類: キタキチョウ、ツマグロヒヨドリ
指標種	キンラン、キンラン、シモンラン、ヤマコリなど貴重な林床植物、並びに樹林性鳥類、樹木性昆虫類など		鳥類: エナガ 昆虫類: ウバタマムシ	植物: ナジミシ	昆虫類: クサキリ	昆虫類: セスジツユムシ	
目標種	昆虫類: ジャコウアマガハ	昆虫類: アシゲロツユムシ、クワノマナチョウ	鳥類: キウイタダキ、昆虫類: ハルゼミ、ウバタマコメツキ	植物: スミシ、ミヤコグサ 昆虫類: キリギリス、クルマバッタ	植物: ウレモコウ 鳥類: カヤネズミ、オオジュリン 昆虫類: ショウリョウバッタ、モトキ、カヤキリ、オナガササキリ	植物: リンドウ、オオナエシ、アキキリンソウ 昆虫類: ツエグサ、ハダクノフスマオイ	